国語採点基準

（総点100点）

〔注意〕１　この配点は、標準的な配点を示したものである。
２　定められた答えの欄に答えが書かれていないときは、点を与えない。
３　指示された答えと違う表現で答えの欄に記入されていても、正答と認められるものには、点を与える。
４　定められた数より多く答えたときは、点を与えない。
５　採点上の細部については、各学校の判断によるものとする。

問題		正答	配点
1	1 (1)	れいぎ	2
	(2)	すこ(やか)	2
	(3)	ちんれつ	2
	(4)	いちじる(しい)	2
	(5)	ちせつ	2
	2 (1)	拾(う)	2
	(2)	運賃	2
	(3)	冷(まし)	2
	(4)	功績	2
	(5)	談笑	2
	3	ア	2
	4	エ	2
	5	ウ	2
	6	ウ	2
	7	イ	2
			30
2	1	いうよう	2
	2	ウ	2
	3	イ	2
	4	エ	2
	5	（例）夜道を歩いているとき、臆病な気持ちによって自分の影を見こし入道に見間違えたもの。	2
			10
3	1	（例）西洋では自然を人間を主体とする表現の従属的な存在として捉えたのに対し、日本では自然を表現の主役として捉えた。	4
	2	ウ	3
	3	エ	3
	4 (I)	（答）感性	3
	(II)	（例）長い時間を経て少しずつ改良され、機能を満たした結果、無駄のない形となるから。	4
	5	ア	3
			20
4	1	（答）大島の牧草地で牛がのびのびと過ごしてる風景	4
	2	ア	2
	3	イ	3
	4	（答）生き物と自然に人生を捧げるという生き方	4
	5	（例）「翔一」の覚悟を知って、両親が「翔一」の思いを知らずに反対するのは違うと思い、両親にも理解してほしいと思ったから。	4
	6	エ	3
			20
5		（評価の観点） １　形　式　目的に応じた適切な叙述であるか。字数が条件に合っているか。 ２　内　容　第一段落 ・〔資料〕から、気づいたことについて述べているか。 第二段落 ・自分の体験（見聞したことを含む）を踏まえて、テーマに対して自分の考えを明確に表現しているか。 ３　表現・表記　文体に統一性や妥当性があるか。主述関係や係り受けなどが適切であるか。語句が適切に使用されているか。誤字・脱字がないか。 ※　これらの項目に照らし、各学校の実態に即して総合的に評価するものとする。	20